

岐阜県「社協マスコットキャラクター 着ぐるみ・とみにん」装着等注意事項

着ぐるみのパーツ（一式）

- 巾着袋（頭）・・・ □ 頭（ファン付）
- 巾着袋（ボディ）・・・ □ ボディ（肩ベルト付）
□ 着ぐるみ手袋 □ タイツ（サスペンダー） □ 靴（左右）
□ 小道具クローバー

装・脱着の方法 ※床面が汚れている場合は、よく拭き取るか、レジャーシートを敷くこと。

<装着時>

- 1 装着者は、素肌が直接着ぐるみに触れないように、長袖、長ズボン（ジャージ等）を着用し、頭には汗が目に入らないようタオル・手ぬぐい等を巻く。出来るだけ眼鏡は使用しない。やむを得ず眼鏡を使用するときは、曇り止め、眼鏡バンドをする。手には汗を吸い取りやすい綿の手袋又は軍手をはめる。
- 2 タイツ（前後を確認）を履き、サスペンダー２本をはめる。
- 3 靴を左右確認して履く。※裸足では履かないこと
- 4 ボディを下からかぶり、装着者の身長に合わせ肩ベルトを調整し、後ろでたすきがけにして前でカチットで止める。
- 5 着ぐるみ手袋をボディの穴に差し込んでおく。（※左の手の平には、小道具のクローバーを入れる棒状の生地が付いている。着ぐるみ手袋はゴムを縛って長さを調整する。）
- 6 頭を介添者がかぶせる。（※換気用ファンのスイッチを入れておく）
ヘルメットに付いているマジックテープを顎の下で止める。
- 7 着ぐるみの手袋の中に手を入れる。
- 8 左手の棒状の生地の中にクローバーを差し込む。※クローバーは落とさないよう握ること。

<脱着時>

- 1 介添者は頭部を上を持ち上げ外す。（※換気用ファンのスイッチを切る）
- 2 装着者は、介添者の協力により、着ぐるみ手袋、ボディ、靴の順に外す。
- 3 汚れた部分は、洗濯用洗剤（簡単マイペット等）を濡れタオル等に吹きかけ、たたくようによく拭き取り、乾いたタオル等で拭き乾燥させる。
- 4 消臭スプレーを内側に使用し、風通しのよいところで陰干しし、十分に乾燥させる。
- 5 袋に収納する際は、破損しないよう注意し、収納する。

装着者の心得 ※着ぐるみを長く使用できるよう、ご協力をお願いします。

- 着ぐるみは柔らかい素材でできているため、型崩れしないよう取り扱いに留意すること。特に動きの激しい利用を避け、運搬や保管の際の置き方には十分注意すること。
- 着ぐるみは汚損しないよう細心の注意をもって取り扱うこと。特に雨天時及び降雪時には屋外で使用しないこと（天候が変わった場合は、速やかに撤収すること）。また火気・水気に近づけないこと。
- マスコットのイメージを壊さないため、着ぐるみ着用時は声を出さないこと。（介添者との間に「緊急事態」、「トイレ」などを知らせるサインを予め決めておく。周囲の人から殴る蹴るなどの

行為を受けた際も、介添者へのサインで対処する。)

- 装・脱着の際は、関係者以外に目撃されないようにすること。特に子どもの前での装・脱着には要注意のこと。※乾燥中も、関係者以外（特に子ども）の目に触れないよう注意すること。
- 気温・天候等を考慮し、水分補給や頸部等の冷却など、十分な暑さ対策をすること。
- 着ぐるみ内部は高温・多湿となるため、長時間着用する場合は、15分程度（夏季や炎天下は更に短縮）で休憩を取るか、装着者を交代すること。また、体調が悪くなった場合は無理をせず、休憩・交代すること。
- 着ぐるみは視界があまりよくない上、音声も聞き取りにくくなるので、安全対策のため、介添者（2名以上が望ましい）と一緒に歩行すること。（障害物や段差の指示役、及び子どもの誘導・注意役が必要）また、事故につながるため、走る行為はしないこと。
- 子どもを抱きかかえる行為や感情を表に出す行為、及びイメージダウンにつながる行為はしないこと。
- 装演中着ぐるみが破損したときは、直ちに使用を中止すること。

介添者の心得

- 介添者は、着ぐるみとは「付かず離れず」を心掛け、緊急の際にはすぐ対応できる距離にいること。
- 着ぐるみの斜め前あたりから先導し、必要なときは手を引いて着ぐるみの歩行を補助すること。
- 子ども等が引っ張ったり、体当たりしたりする場合は、優しくたしなめるなど、子どもの対応に気を配ること。
- 介添者が2人以上付く場合、前後に分かれること。（尻尾を触ろうとする人への注意喚起。着ぐるみが振り返るときなど後方は危険）
- 控室の外で、装着者と雑談しないこと。
- 装着者は周囲がほとんど見えないので、声かけにより周囲の状況を知らせてあげること。
（着ぐるみの尻尾と腹回りに集まる子どもには特に注意）
- 常に装着者の様子に気を配り、無理をさせないようにすること。
- 着ぐるみに危害を加える人には、毅然とした態度で注意すること。
- 「誰が入っているの？、男？女？」などの質問には、「ともにんは、ともにんだよ」とにこやかに答えること。
- 握手や写真撮影の際、人の整理を行う。

その他注意事項

- 着ぐるみは大きいので、借受時・返却時はワゴン車、軽トラ又はライトバンで運搬すること。
- 頭部内の換気ファン用に単3乾電池を4本用意すること。
- 着ぐるみ手袋とタイツは、洗濯ができるので、洗濯用洗剤で押し洗いし（洗濯機の場合は洗濯用ネットに入れること）手早くすすぎ、水を切った後、乾燥し、返却すること。
- 靴底の泥等の汚れをよく落としたうえで返却すること。
- 落ちない汚れがついたり、修繕できない破損をした場合は、返却時に必ず知らせること。
- 着ぐるみの返却時または返却後、「着ぐるみ使用報告」を提出すること。（別紙様式を参考にしてください。）

(別紙様式)

着ぐるみ・ともにん使用報告

- ① 使用者
- ② 使用日
- ③ 用途（イベント名など）
- ④ 場所
- ⑤ 集客・参加人数等（わかる範囲の概数で可）
- ⑥ 写真